

産地パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アイ	成果目標の平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導を 必要とした 地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80%未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
大分県	36	30	6	59%	5	有	5	<p>評価対象6地区のうち、5地区が達成率が90%を下回った。</p> <p>要因としては、昨年度に比べて出荷量は増加したが、販売単価の低迷により、目標達成に至らなかった。</p> <p>今後は、関係機関と連携し、面積拡大や販路開拓等を促し、販売額の増加を図る。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し59%であり、目標は達成されていない。このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、大分県が改善指導を必要とした地区(達成率90%未満)については、5地区である。</p> <p>&lt;参考:評価対象地区の概要&gt;</p> <p><b>【野菜】</b> 令和2年度の評価対象の5地区のうち、目標達成している地区は1地区、未達成が4地区となっている。 販売額増加の目標が未達成となった4地区の主な要因は、2地区(こねぎ・水耕ねぎ)は長期的な販売単価の低迷、1地区(菌床椎茸)は長期的な販売単価の下落、1地区(トマト)はウイルス病拡大に伴う収量減によるものである。</p> <p><b>【ばれいしょ】</b> 令和2年度の評価対象の1地区は、目標未達成となっている。 販売額増加の目標が未達成となった1地区の主な要因は、販売単価の低迷によるものである。</p>